

旧アクションプラン(2006~2014)

ビジョン	公正で持続可能な社会の構築を目指して、 ・市民一人ひとりがESDを理解し、実践活動を実施 ・あらゆる主体が連携して自立的・自発的な取組みを促進 ・あらゆる活動視点に、北九州方式のESDを促進し、国内外へ発信
目標	○参画主体のネットワーク化と連携活動の強化 ○市民への普及 ○既存の取組みのESD化 ○新たなESDの開発・普及 ○公正で持続可能な社会の構築に向けた仕組みづくり ○多様な主体による研究活動・学習の推進 ○知識、経験、ノウハウ、実践手法等の共有と蓄積及び国内外への発信

結果

成果 (これまでの取組み)	○北九州 ESD 協議会の設立、RCE の認定(2006年) ○北九州まなびと ESD ステーションの開設(2013年) ○継続的な啓発活動による ESD の種まき ○北九州市で多分野の計画に位置付け ○北九州市環境学習課内に ESD 推進係が設置(2012年) ○ESD コーディネーターの育成により実践活動団体等の誕生 ○小・中・高校、大学等の教育現場での ESD への意識 ○国内外 RCE との連携・交流、情報交換・発信
課題	× ESD の理解や認知度、活動の環が広がっていない × 各分野で具体的に何をしたらいいのかわからない × 学校教育・生涯教育への、ESD 取込み不足 × 北九州まなびと ESD ステーションの存続 × 企業・行政機関への周知・啓発不足 × 主体間のネットワークづくりが必須 × ESD を「見える化」して、点検・見直しが必要 × 国内外に発信するためのグローバル人材が必要 × 協議会、事務局の体制整備が必要

振り返って

世界的 ESD の流れ

ESDに関するグローバル・アクション・プラン(GAP) 【2015-2019】

5つの優先行動分野

- (1) ESD に対する政策的支援
- (2) ESD への包括的取組
- (3) ESD を実践する教育者の育成
- (4) ESD への若者の参加の支援
- (5) ESD への地域コミュニティの参加の促進

ふまえて

重点的に取り組む事項

北九州 ESD の将来のビジョン

～「環境・社会・経済のバランスのとれた、公正で持続可能なまち」の実現を目指して～

北九州 ESD
2015-2019
スローガン

「自分を変え、まちを変え、未来を変えていく、北九州 ESD」

- ESD の必要性について、市民一人ひとりが理解し、それぞれの役割をふまえて行動
- 北九州のあらゆる主体がつながり、持続可能なまちの実現を目指して、自主的・積極的に活動
- 国内外の多様な組織・団体が結びつき、高め合い、深め合う学び合いを継続的に実施

皆がつながり、公正で豊かなまちを創り、持続可能な未来へ！

【北九州方式 ESD】

北九州方式 ESD とは…『環境』を出発点に ESD を広め、『市民主体』で持続可能な ESD を目指す

- 『環境』…「環境未来都市・北九州市」の特長である「環境」を出発点に、身近な事例から ESD の理解を進めることで、普及を促進します。
- 『市民主体』…産学官民が一体となって公害克服した北九州の歴史を基盤に、「①市民一人ひとりが」「②自主的に」「③協働で」ESD に取り組むことにより、真の持続可能な地域・社会づくりを目指します。

普及・啓発・発信能力の強化 (共通事項)

- 「ESD とは？」という問いについて、明確な説明を確立・共有
- 持続可能なまちの将来ビジョンを共有
- 多様なメディアを活用した情報発信
- 既存の活動へ ESD の視点をプラス
- 国内外の組織との連携強化
- ESD の有効性を「見える化」
- 分野・世代を超えた協働の仕組みづくり
- 既存の ESD プログラムの整理・新規開発

持続可能なまちづくりは地域から

① 地域・ネットワークづくり

- 地域・学校・企業・NPO 等の連携強化
- ESD コーディネーターの育成

目標	・ESD コーディネーター研修受講者数増加 ・地域での ESD 活動・イベント件数増加 など
----	---

就学前から小・中・高校・大学まで切れ目なく

② 多様な教育の場

- 学校現場への ESD 浸透
- 北九州まなびと ESD ステーションの役割と機能の存続、活性化
- 教員等への研修実施

目標	・ユネスコスクール加盟校数：15 校 ・まなびとリーダー・マイスターの育成 など
----	---

従業員、消費者、地域など、社会へ大きな影響力を持つ

③ 企業

- 周知・啓発の強化
- ESD 活動表彰制度の創設

目標	・企業の ESD 活動への表彰制度の創設 ・企業向け ESD 研修実施件数：4 件 など
----	---

様々な分野からまち・社会づくりを担う

④ 行政機関

- 周知・啓発の強化
- 行政職員への研修導入

目標	・あらゆる施策に ESD の視点をプラス ・行政機関向け ESD 研修実施件数：3 件 など
----	---

推進体制・事務局の強化

- 協働のコーディネート
- 情報収集・整理・発信
- RCE 北九州のデザイン
- 運営改善
- 進行管理(PDCA)
- 活動資金の確保・開拓

2017年3月までに推進体制と事務局体制の整備

最終目標

ESDの北九州全域への普及